



東安魂



東安中学校だより
R 8. 7. 17
第4号

自らを律する夏休み ～何をすべきか自ら考える～

校長 香田 勝頼

44 日間の夏休みが始まります。せっかくの長期休暇ですから、普段は時間的な制約でできないことに挑戦したり、家族との時間を大切にしたり、地域の行事に積極的に参加したりするなど、充実した生活を送ってほしいと思います。

夏休みは、自分で自分を^{*}律して（律する…感情や欲望に流されずに行動を整える）いかなければなりません。授業がある日とは違い、決められた時刻に登校する必要はなく、学習時間も決められていません。そのため、「いつ、何をすべきか」全て自分で考え判断し、行動していかなければなりません。このように、生徒自らが考えて行動する時間は、昔に比べて増えたように思います。

私が教員になった 30 数年前は、夏休みの宿題をととても多く出していた記憶があります。読書感想文は全員が書いていました。それに加え、ポスターや科学作品、または統計グラフ等、自分で課題を選んで取り組むようにしていました。さらに、夏休み用のテキストと漢字、計算、英単語の練習もあったと記憶しています。ラジオ体操も、お盆の週と土日、雨天以外は毎日ありました。部活動は、お盆以外は土日関係なくありました。

しかし、この 30 数年間で、様々なものが変化しました。大きな変化は気候です。私が初任者だった 1993 年の安八町の 8 月の平均気温は 23℃でしたが、昨年 2025 年 8 月の平均気温は 27.5℃でした。30 数年で 4.5℃上昇しています。ちなみに 8 月の最高気温を比較すると 1993 年は 31.7℃、2025 年は 34.3℃です。このような気温の上昇により、日中の炎天下での部活動の実施が難しくなりました。屋内も同様で、夏季の体育館内の室温も上昇し、熱中症指数が危険レベルに達することも見られるようになりました。そして、世の中の価値観も 30 年間で変化してきたと思います。現在は多様性を認めていくことや、個を大切にすることが求められるようになりました。そのため、生徒が夏休みに部活動や多すぎる宿題に時間を取られすぎることを避け、できるだけ自分のやってみたいことに挑戦する機会を増やそうと考えるように変化したと言えます。これに加え、令和元年の新型コロナウイルス感染症の流行が変化に拍車をかけたと思います。

このように、夏休みの在り方も、気候や社会の変化に応じて変わり、現在は「生徒が自分で考えて過ごす時間」が大幅に増えました。自分の時間がたくさんあるわけですから、主体性を発揮することが求められているとも言えます。誤解がないように説明すれば、全ての時間を学習につかうことを求めているわけではなく、後悔・反省の少ない時間のつかい方を考えてほしいと願っています。例えば、「やっておけばよかった」という反省は、何も学習だけに当てはまるものではありません。地域の行事に面倒で参加しなかったけれど、後から参加した仲間の「楽しかった」という感想を聞くと、「参加しておけばよかった」と感じることもあるかと思います。

夏休みは多くの体験ができる機会です。休みだから開催される催しもあると思います。機会に恵まれるのなら、様々な行事や催しに参加できるとよいと思います。理想を言えば、自分の体験してみたいイベントに参加したり、博物館や美術館、映画館など自分が見てみたいものがある場所に足を運んだりすることもよいことだと思います。中学生のうちの体験は、将来の自分を形づくる基になることもあります。3 年生は高校見学会がこれにあたります。様々な体験をしておくと、感性が磨かれ、考え方にも幅が生まれます。

とは言え、誘惑も多くなるのも夏休みです。スマホ依存になったり、ゲーム依存になったりしやすい環境もあります。また、危険な場面に出遭う可能性も高まります。熱中症、交通事故や川などでの水の事故も夏休みは増える傾向にあります。中学生ですから、こういった危険に遭わないように考えながら行動することも必要です。まずは、健康と安全を第一に考えてください。

休み明けに、夏休みを充実させた皆さんの笑顔に再会できることを楽しみにしています。

東安歳時記【6月下旬～7月】

■6月23日（金）第2回学校運営協議会が開催されました

今回の学校運営協議会では、3年生との給食懇談会や昼休みの意見交流会を実施しました。これは、今年度のCT フェスティバルや東安校区魅力発見ウォークラリー実施に向け、生徒たちの願いや考えを聞いて、協議会としてサポートできることを協議したいという思いを実現する目的がありました。協議会委員の皆さんは、生徒たちの声を熱心に聴いたりご自身の考えを伝えたりしながら、親睦を深めていました。

■7月8日（水）薬物乱用防止講座

岐阜県警察少年サポートセンターの方をお招きし、3年生を対象とした薬物乱用防止教室を実施しました。

かぜ薬でも使用方法や使用量など間違った使い方をすれば薬物乱用になることや、一度使用すると自分ではやめられなくなってしまう依存性があること、また、薬物乱用は身近な人からの誘いが多いことから、「誘われても断る強い心」や「立ち去る勇気」「誘われない生活態度」が大事だと学びました。

■7月10日（金）「東安王」開催！

生徒の間から、「過去に行っていた『東安王』をまたやりたい」という声があがり、生徒会執行部を中心に、企画・準備を進め、みごと復活開催することができました。過去との違いは、「縦割り」を活かした活動としたことです。学年の隔たりなく、ともに知恵を出し合い相談し合いながら難問に挑戦する姿から、生徒会が目指す「Together We Achieve（一緒に達成しよう）」の実現に何が必要なのか教えられました。

■7月12日（日）あじさいボランティア

墨俣犀川堤のあじさいが、今年もとても美しく咲き、訪れた多くの方の心を和ませてくれました。来年、より美しい花が咲くことを願い、剪定作業が行われました。約15名の東安中学生も、主体的に参加して、地域の方と爽やかな汗を流しました。作業を進めるうちにコツをつかみ、だんだんと楽しくなってきました。きれいに咲いている剪定した花を、家に持ち帰る仲間もいました。来年の犀川堤も楽しみです。

★自他を尊重し 互いの安全・安心を守るために★

7月に入り、地域や周辺道路を通勤等でご利用になっている方から、東安中学生の交通マナーについて大変心配しているという連絡が複数件寄せられています。ご家庭でも、お子さんと話題にして自己を見つめ直すきっかけとしていただくと幸いです（以下は寄せられたご意見です）。

- ・自転車の乗り方（左側通行、横断歩道は降りて渡る、並進をしない、スピードを落として走行、ヘルメットをかぶる 等）
- ・歩行の仕方（広がらずに歩く、通学路を利用する、歩道橋を利用する 赤信号は止まる 等）

人として守るべきことは 誰が見ていなくても守る それが**自他を尊重し、安心な暮らしの実現**につながります。一人一人が今までの自分を素直に見つめ直し、よりよい生活を創り出していきましょう。